

<第5議案>

役員改選について（案）

現役員任期満了に伴い、以下の通り、10人の理事候補と2人の監事候補を提案する。定款第10条1項に定められた役員数は、理事7名以上12名以内、監事2名である。10人の理事候補のうち、8人は再任、2人は新任である。2人の監事候補のうち、1人は再任、1人は新任である。

■理事候補（50音順）

梅林宏道（再任）、小笠原公子（再任）、緒方 毅（新任）、嘉指信雄（新任）、首藤もと子（再任）、高原孝生（再任）、田巻一彦（再任）、道原海子（再任）、湯浅一郎（再任）、横山正樹（再任）

以上10名

■監事候補（50音順）

呉東正彦（再任）、山中悦子（新任）

■役員候補の紹介（50音順）

梅林宏道（うめばやし ひろみち）

ピースデポ代表（前期）、太平洋軍備撤廃運動（PCDS）国際コーディネーターとして軍縮、安全保障問題にとりくむ。世界的なネットワーク「中堅国家構想」国際運営委員、核軍縮議員ネットワーク東アジア・コーディネーター。『核兵器・核実験モニター』の共同編集責任者。ピースデポ・イアブック監修者。著書・共著書・訳書に「在日米軍」（岩波新書）「情報公開法でとらえた沖縄の米軍」「情報公開法でとらえた在日米軍」「21世紀の核軍縮」「ミサイル防衛」など多数。横浜市港北区在住。

小笠原公子（おがさわら きみこ）

1981年の日本キリスト教団神奈川教区核問題小委員会結成以来、核・原発問題に関わる。横須賀の私立高校勤務時代から、米軍基地の問題、軍事と核政策のしわ寄せを受ける民衆の現場に関心を持ち、活動。1995年より、日本キリスト教協議会平和・核問題委員会委員長。同時に、移住労働者・移民や難民の人権支援団体事務局で活動。＜民衆の安全保障＞をめざす会会計、アジア平和連合設立に関わる。横浜市在住。

緒方 毅（おがた つよし）

37年間長崎県高校教師。その間、組合支部、本部専従役員。長年、日本民間教育研究団体である高校生活指導研究協議会（略称・高生研）会員・全国委員、高等学校教育法研究会会員。2000年より日本平和学会委員、長崎平和研究所事務局員、2006年度（06／2）より同事務局長就任の予定。長崎県佐世保市在住。

嘉指信雄（かざし のぶお）

広島市立大学国際学部助教授を経て、2001年より神戸大学文学部教授（現代哲学、近代日本思想）。エール大学哲学博士。「NO DU（劣化ウラン兵器禁止）ヒロシマ・プロジェクト」代表。「核兵器廃絶をめざすヒロシマの会」運営委員。編著書に、『哲学の21世紀 ヒロシマからの第一歩』（広島平和文化センター）、『西田哲学選集 第5巻、「歴史哲学論文集」（編・解説）』（燈影舎）など。広島市在住。

呉東正彦（ごとう まさひこ）

弁護士。「原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会」の共同代表。横浜弁護士人権擁護委員会基地部会委員。1989年、「ネパの会」会員として米国家環境政策法（NEPA）違反を理由に在日米軍基地をはじめ米法廷に訴える訴訟に参加。1994年、横須賀で呉東法律事務所を開設。横須賀市在住。

首藤もと子（しゅとう もとこ）

筑波大学教員。日本平和学会（理事）、日本国際政治学会、アジア政経学会等の会員。アジア地域の開発と環境問題や人権問題に関する国内のNGO会員。インドネシアの研究機関、マレーシアのNGOの会員。東京都世田谷区在住。

高原孝生（たかはら たかお）

明治学院大学国際学部教員。（担当科目：国際政治学、平和学、軍縮研究）。日本平和学会理事。川崎市平和館の平和資料コーナーに協力。横浜市港南区在住。

田巻一彦（たまき かずひこ）

70年代から、神奈川での日韓連帯運動、反基地平和運動に加わる。「トマホークの配備を許すな全国運動」の発足に参画。「脱軍備ネットワーク・キャッチピース」の運営委員として「月刊キャッチピース」編集長を経て、現在に至る。『核兵器・核実験モニター』の共同編集責任者。ピースデポ・イアブック編集長。横浜市港北区在住。

道原海子（みちはら かいこ）

1981年「戦争への道を許さない世田谷の女たちの会」「核と戦争をなくせ世田谷区民連絡会」結成、世話人。後13年間、生協理事の傍ら、「平和のための資料展」開催。現在「せたが

や原水禁」副議長。2001年「北東アジアの非核地帯化をめざす全国ネットワーク」を立ち上げ、事務局担当。東京都世田谷区在住。

山中悦子（やまなか えつこ）

開発協力NGO・（特活）草の根援助運動共同代表。脱軍備ネットワーク・キャッチピース全国運営委員。80年代後半から90年代はじめは生活クラブ生協神奈川の社会運動担当理事として多くの組合員とともに反核・脱原発運動に取り組む。現在「すべての基地にNo!をファイト神奈川」に参加し、原子力空母の横須賀母港化や、在日米軍基地強化阻止をめざして地域で活動中。横浜市港北区在住。

-

湯浅一郎（ゆあさ いちろう）

「ピースリンク広島・呉・岩国」世話人、「脱軍備ネットワーク・キャッチピース」全国運営委員、「核兵器廃絶をめざすヒロシマの会」運営委員、環瀬戸内海会議顧問、芸南火電阻止連絡協議会。専門は海洋物理学、沿岸海洋環境学。著書に「平和都市ヒロシマを問う」「地球環境をこわす石炭火電」。広島県呉市在住。

横山正樹（よこやま まさき）

フェリス女学院大学国際交流学部教員。フィリピンを中心に、アジア太平洋地域の開発・環境問題に関する平和研究を続ける。著書・編書に「フィリピン援助と自力更生論－構造的暴力の克服」、「平和学の現在」、「ポスト冷戦とアジア－アジアの開発主義と環境・平和」ほか。日本平和学会理事・同関東地区研究会代表者。東京都杉並区在住。